

本県における不登校の現状について（平成27年度 公立学校・私立学校の状況）

1 校種別の現状について

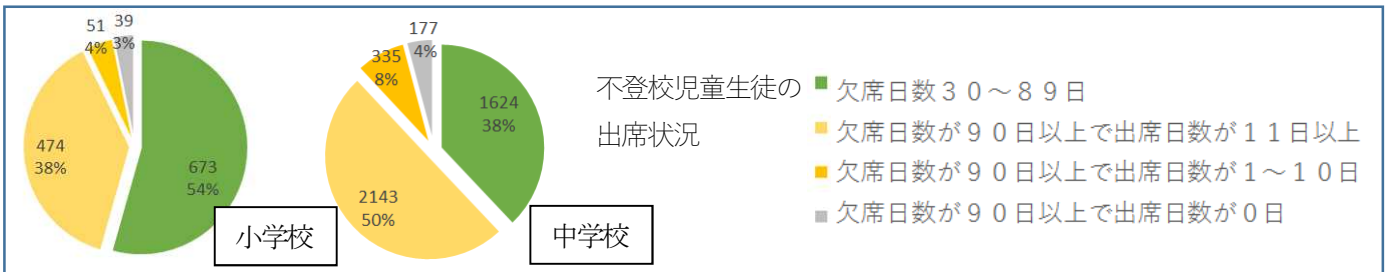
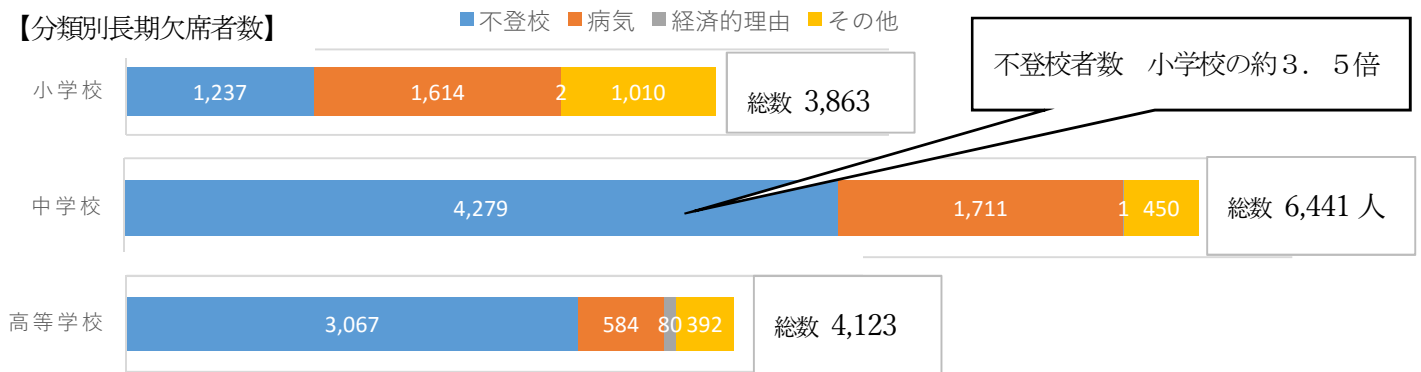
| A=B+C (単位:人) | 全児童 生徒数 | 長期欠席 者数(A) | 長期欠席 率 | 不登校者 数(B) | 不登校者 率 | 不登校 解消数 | 不登校 解消率 | 不登校以外(C) | | |
|-----------------|------------|---------------|-----------|--------------|-----------|------------|------------|----------|-----------|-------|
| | | | | | | | | 病気 | 経済的 理由 | その他 |
| 小学校 | 320,098 | 3,863 | 1.21% | 1,237 | 0.39% | 370 | 29.91% | 1,614 | 2 | 1,010 |
| 中学校 | 164,578 | 6,441 | 3.91% | 4,279 | 2.60% | 1,323 | 30.92% | 1,711 | 1 | 450 |
| 高等学校 | 152,338 | 4,123 | 2.71% | 3,067 | 2.01% | 1,090 | 35.54% | 584 | 80 | 392 |
| 合計 | 637,014 | 14,427 | 2.26% | 8,583 | 1.35% | 2,783 | 32.42% | 3,909 | 83 | 1,852 |

*長期欠席者 (A) : 連続または断続して30日以上欠席した者。

*不登校者 (B) : 何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により登校しない、あるいはしたくともできない状況にある者。

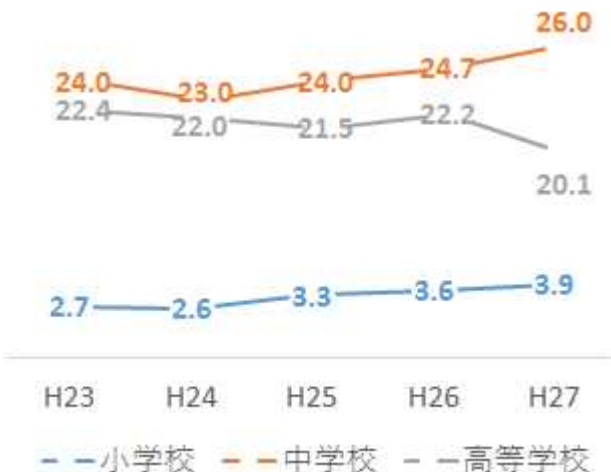
*不登校以外 (C) : 病気・経済的理由・その他 (家庭の事情、連絡先不明等、2つ以上の要因があつて特定が難しいもの)

【分類別長期欠席者数】



不登校児童生徒数 8,583人のうち、2,783人(32.42%)が当該年度中に解消している。

2 過去5年間の1,000人当たりの不登校者数の変化



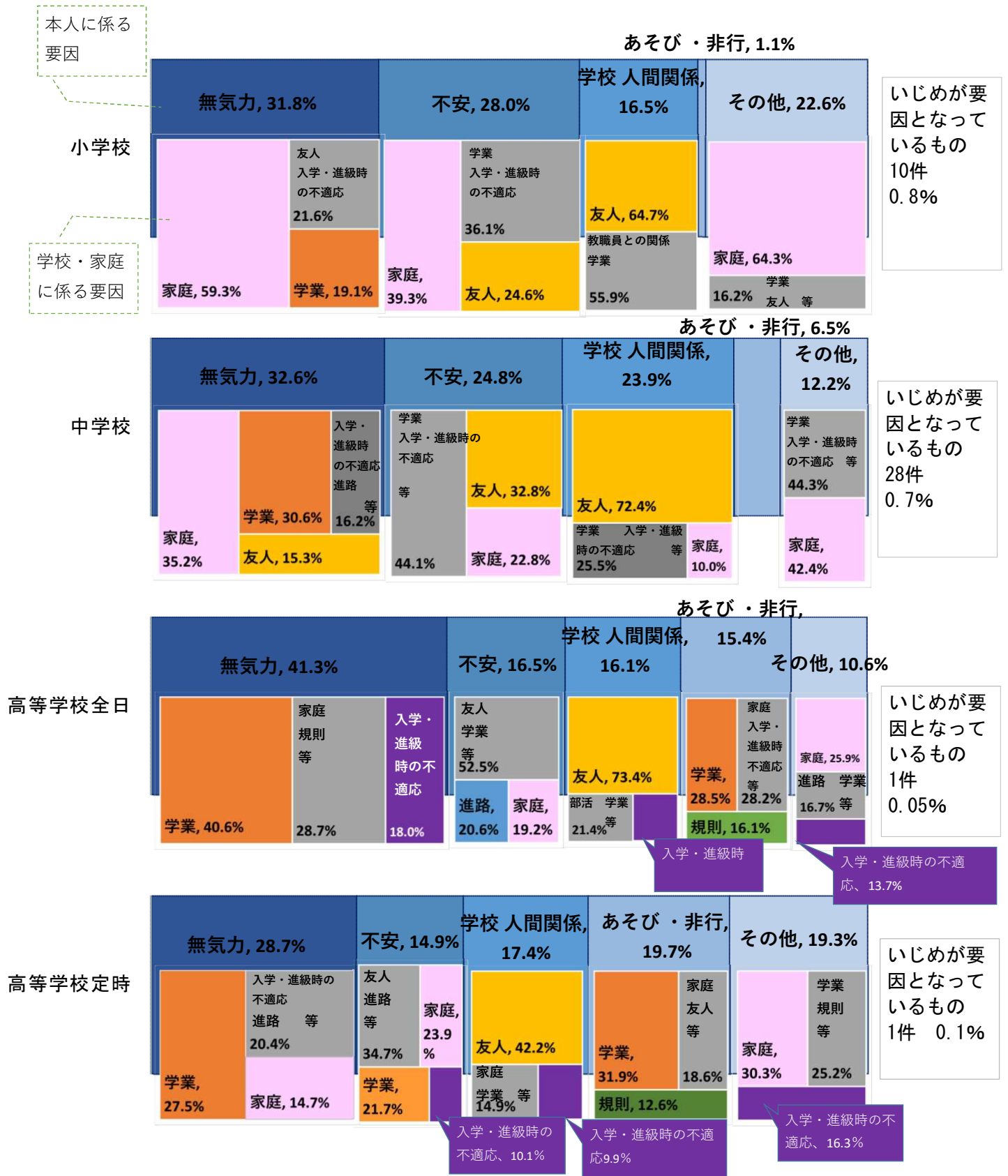
平成24年度から、小学校・中学校で増加。高等学校では減少傾向。

| 平成27年度 | 全国平均の値 | (カッコ内は26年度) |
|--------|--------|-------------|
| 小学校 | 4.2 | (3.9) |
| 中学校 | 28.3 | (27.6) |
| 高等学校 | 14.9 | (15.9) |

高等学校中途退学率

| | 全日制 | 定時制 | 通信制 | 合計 |
|-----|------|-------|------|------|
| 千葉県 | 0.8% | 12.7% | 5.5% | 1.2% |
| 全国値 | 0.9% | 10.0% | 5.5% | 1.4% |

3 不登校の要因について



* 学校が把握している不登校の主たる要因を分類したものの。「その他」は、本人や保護者と話をしても「無気力」「不安」等のような傾向が見えず、理由がはっきりしないもの。

* 「本人に係る要因」の枠内に、「学校と家庭に係る要因」を示している。（複数選択可。）
「いじめが要因となっているもの」も、「学校に係る状況」として、学校が把握しているものである。